

兵庫県のみ漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 2 号)

大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(11/19)よりも大幅に減少しており、海域全般において珪藻類の発生は少ない状況です。そのため窒素は、神戸地先で6~18  $\mu\text{g-at/L}$ 台、その他の海域で概ね4~5  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっており、前回よりも上昇しています。

(水温) 神戸地先：平均15.0℃。神戸沖：平均15.5℃、東浦地先：平均16.0℃。  
 (塩分) 神戸地先：31.81~32.60psu。神戸沖：32.20~32.74psu。東浦地先：32.71~32.81psu。  
 (珪藻)

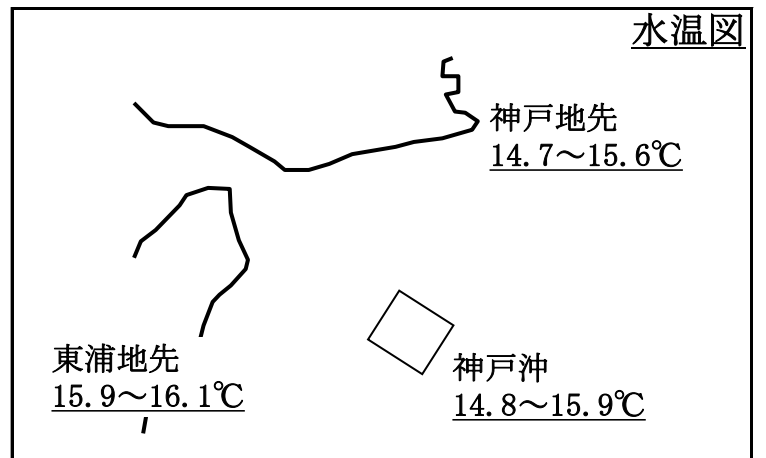
コシノディスカス発生量は海水1Lあたり、0~15細胞(前回値：300~800)であった。  
 1-①駒カ林では小型珪藻のキートセロスがわずかに確認されたが、全域において小型珪藻のスケルトネマは確認されなかった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	19.8	15.0	14.1	15.4
	窒素	4.0	10.3	7.3	5.9
	リン	0.48	0.74	0.55	0.64
神戸沖	水温	19.7	15.5	14.5	15.5
	窒素	2.3	5.2	5.5	4.8
	リン	0.41	0.60	0.56	0.59
東浦地先	水温	20.1	16.0	14.4	15.4
	窒素	2.4	4.9	4.7	4.6
	リン	0.42	0.60	0.51	0.60

(11/19)

(12/20)

窒素の平均値は1-①を除く



栄養塩 (窒素) 図

2025年12月18日調査

上げ潮~満潮 (西流)

調査時間 ; 8:14~10:24

